

# 月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

## 6月の活動予定

6月5日(火) 第一例会  
6月19日(火) 第二例会 終了後リーダー会

6月1日(金)～7日(木) 九州

6月2日(土) 物見の岩清掃 修了後練習  
CL…  
9:00 観音堂前集合

6月10日(日) 中西山・東山(春の花)  
CL…

6月17日(日) 浅草岳(ヒメサユリ)  
CL…

6月24日(日) 佐武流山  
CL…

## 7月の活動予定

7月3日(火) 第一例会  
7月17日(火) 第二例会 終了後リーダー会

7月8日(日) 長山協 夏山登山教室  
虫倉山  
CL…

7月14日(土)～16日(月) 白山(石川県岐阜県)  
CL…

7月21日(土)～22日(日) 権現岳～赤岳  
CL…

## おしらせ

玉山の感想文を6月23日までに提出してください。

嬉しいニュースです。  
新しい方が入会されました。  
さんです。  
トレランをやっているらしいです。  
一緒に活動できるのが楽しみです。

## 4・5月の活動報告

5月8日(火) 第一例会  
5月22日(火) 第二例会 修了後リーダー会

5月12日(土) 風越山(飯田市)

天気:晴れ時々曇り

飯田市民の山、風越山。登山口の子どもの森公園は8時30分解錠となっていました。到着した8時15分には、すでに開いていました。

ゴルフ練習場を過ぎ、幅の広い歩きやすい登山道を行います。風越登山マラソンが行われるだけあって、トレランのトレーニングに良さそうです。(私には急過ぎてとても走れません)ヤマツツジやギンリョウソウを眺めながら登っていくと、携帯から地震速報が！見ると長野で震度5弱あり、びっくりしてそれぞれ電話で長野の様子を確認しました。

登山口から1時間半ほどで眺めの良い虚空蔵山に到着。半円形の山座同定盤が設置されていたのですが、これがまたわかりにくい。憶測であれが北岳、こっちが赤石かなあ・・・などと言っていたのですが、ラミネートされた山座同定の紙が置いてあるのを下山時に発見。これはわかりやすくモヤモヤ感がスッキリ！

ベニマンサクの木も多いです。秋には紅葉と赤い花が見事でしょう。1時間ほどで白山神社奥宮。意外とりっぱな山門とお社で、斜めになった石の階段を上がっていきます。この先に唯一の難所？根が大きく張りだしたロープの付いている箇所があり、少し行け





ば広々とした頂上です。周りがブナの木で囲まれていて、展望は無いのですがブナの芽吹きが美しい、気持ちの良い山頂です。おまけにブナの間からきれいな「彩雲」を見ることができました。のんびりしたいところですが、大量のブヨに追われるように、お昼もそこそこに下山しました。

かつて行った南アルプスの話やら、これから行く安平路山の話やら興味深く聞いていました。南アルプスを眺めながら気持ちの良い山行でした。

## 5月20日(日)安平路山

天気:晴

中央アルプス南端にある安平路山は、長野市から遠い、登山口まで入るのが難儀、深い藪こぎ、長丁場である・・・そんな情報を持っていたので、山行が実現できた事が夢の様でとても嬉しい。飯田から大平宿へ、東沢林道に入って間もなく悪路となり飯田市水源取入口を過ぎて1時間弱を凹凸



や笹に細心の注意を払って林道終点の摺古木自然休憩舎に到着した。3台の県外車が駐車。登山道に入りすぐに急な登りとなったが、次第に緩やかになり、展望台経由と直登で摺古木山への分岐までは快適な山歩きができた。途中、イワウチワの群生に出会う。急登を一頑張りで摺古木山頂着。北側の展望がすばらしく、白山、御嶽、乗鞍、穂高連峰、中央アルプスの越百、南駒、宝剣が間近に見え、木々の彼方に安平路山の緩やかな山容があった。白ビソ山へ急な下りを進む、間もなく笹原の緩やかな尾根となったが、笹が深く登山道を探すのに難儀をした。



寝ている笹の根元を足で探り、赤布を真剣に探し、何とか

白ビソ山へ。緩やかに下り、開けた所にログキャビンの安平路避難小屋があった。樹林帯の急登を登り切り尾根を進んで安平路山頂着。標柱に4人でタッチ！頑張りました！樹林帯で展望のきかない山頂を後に避難小屋まで下りて昼食を取った。復路も笹をかき分け、赤布を探しながら足を運び、無事に下山することが出来た。満足感一杯の山旅でした。



長野(梅木屋) 4:15— 更埴IC — 飯田IC — 大平宿  
6:55 — 摺古木自然休憩舎 7:45/8:00 — 直登分岐 9:05  
— 摺古木山 9:47 — 白ビソ山 11:14— 安平路避難小屋  
11:45 — 安平路山 12:40 — 安平路避難小屋  
13:28/13:50  
— 白ビソ山 14:31 — 摺古木山 15:35 — 直登分岐  
16:15 — 摺古木自然休憩舎 17:00/17:20 — 大平宿  
18:00 — 長野 21:10



## 4月28日(土)～5月3日(木) 創立 35 周年記念登山 台湾 玉山

玉山は標高 3,952m 台湾最高峰  
台湾のほぼ中央にあり、周囲は台湾自然生態保護区。玉山国立公園に指定されています。  
富士山よりも高い玉山、日本が台湾統治時代は「新高山(ニイタカヤマ)」と呼ばれていました。  
今回登頂したのは玉山山脈の主峰。四方に玉山東峰(3,869m)北峰(3,858m)南峰(3,844m)西峰(3,467m)があります。  
また下山後には、中華台北山岳協會を表敬訪問し交流を深めることができました。

4/27(金)

参加の 8 人はタクシーで羽田空港に向かう。

4/28(土)

2:00 羽田空港着。台北への飛行時間は約 3 時間(タイガーエアー)。日本と台湾の時差 1 時間。チケットの手配をして下さった神保さんのおかげで全員窓側席。次第に空が明るいグラデーションに輝き、そしてスッキリした青空に。

8:00 台北空港に着くと創立 25 周年の雪山登山でもお世話になった林(リン)さんが笑顔で出迎えて下さる。「昨日玉山から下山してきたんだよ」と元気に話されるが右足のスネには大きくガーゼがあててある。「大丈夫」とおっしゃるけれど痛々しそう。

移動バスのドライバーさんも雪山の時の張さんでした。お二人とも 10 年の歳月を感じないくらい親しみのある再会でした。

烏龍茶のお店に寄り、台湾のお茶の淹れ方に見入りながらお茶をいただく。お茶を口にするとまたついで下さるのは「昔ながらの信州と同じだわ」と思いました。

昼食はターンテーブルに台湾料理の大皿が

次々並び、どの料理も美味しくいただきました。

バスは阿里山森林遊楽区にある今日の宿泊ホテルに向かいます。日本では見ないビンゴの木やバナナの木がたくさん。走る車が日本車の多いことに驚く。

標高 1,000m からはお茶畑が目立つようになる。森林遊楽区には一般のバスは入れずホテルのマイクロバスに乗り換えてホテルへ。部屋にスーツケースを置いて阿里山巨木群を散策。遊歩道があちこちに延びて一日ゆっくり散策ができそう。

4/29(日)

4:30 公園内の御来光スポットに向かう電車の音で目が覚める。

いよいよ今日は排雲山荘までの 8.5km、6 時間(休憩 5 回)の登山。

登山口に向かう途中、ワサビを売る人。白菜の上にワサビをたっぷりのせて試食。

8:40 上東埔 P 着。管理局員さんがパスポートチェック。塔

塔加登山口までのシャトルバス(8 人乗り)に乗車するため並ぶ。

が前に並ぶ中国人登山者と中国語で話

はずみ待ち時間が気にならない。

以前はこのシャトルバス区間(5km)を歩いていたというから助かる。

9:43 登山開始。歩き始めはわずかな間急な上り。それから先は穏やかな登山道。玉山ツツジやスマレが咲き、ワラビも目に入るが国立公園なのでスルー。歩くにつれ、見頃のシヤクナゲが登山道わきや山のあちこちに咲き山が華やかに。登山道にシヤクナゲの花びらで作ったハート型が…カワイイ!(若い人が作ったのかな?)。

長靴を履いた人が多く、若い登山者が多い。

3,000m 付近でも大人が三人で手を回せるような大木の林。

4 回目の休憩場所に大きな大きな一枚岩の大峭壁。まずは挑戦。

15:10 ガスが切れて、玉山山頂が見える。

15:25 排雲山荘(3,402m)着  
収容人員が決まっているので二段ベッドも余裕。シュラフ有(インナーを持参)。

外の階段踊り場で林さんが淹れて下さった烏龍茶をいただきながら明日の登山の打ち合わせ。

夕食後早目にシュラフの中へ。外は満月。

4/30(月)

1:30 起床

2:40 おかゆを食べて出発。山頂まで 2.4km(休憩 3 回)

3,500m 森林限界。周りはハイマツになる。ライトの列。

山頂まで 400m の

ところで登山道は落石防止の頑丈な網で覆われる。頭上の網の上には落石がいっぱい。

頂上付近は風も強くなるのでカップ等防寒対策。

5:20 玉山

(3,952m) 登頂。  
手袋を外して林さんと握手。

御来光の時間に合わせて登ってきた人で頂上は多くの人。

WBN の旗を中心に記念撮影。それぞれのスマホ、カメラでも…。

陽が射ってきて登頂した喜びが増してくる。影玉山がきれいな姿を映す。

5:45 下山

7:16 排雲山荘着。登



頂した喜びに浸りながら用意されたラーメンをいただき山荘を後にする。

12:18 塔塔加登山口着。

上東埔 P からはまたバスで宿泊地沙里仙温泉休暇村へ移動。休暇村の中にあるホテルには雰囲気のある露天風呂があり、敷地内にはコテージが何棟もある素敵なところでした。



5/1(火)ホテルを出発。台北に向かう。

日月潭方面に向かう交差点にある日本が建てた新高登山口の記念碑を見学。旧登山道は玉山まで5日かけ30kmを歩いて登ったとか。

高速道路移動とはいえ長い時間乗るバスの中、一番前に座ったが林さんの話を後ろのみんなに伝えたり時には通訳したり、ガイドさんのようです。

バスからの景色はピンローの木がなくなり、水田に、そして高層ビルに変化。

16:10 故宮博物館見学。計画では九份見学でしたが、メーデーのため会社のお休みが多く、九份が込み合う心配があるということで、翌日予定だった故宮博物館に変更。

短い時間でしたが、初入館の人、再・再々入館の人、時間一杯見学しました。

夜は夜市へ。

お店がひしめき合っって人も多い。衣類、お土産、おもちゃ、食べ物…何でもあり。

5/2(水)中華台北山岳協會訪問

理事長さんはじめ皆さんで出迎えてくださいました。案内された部屋の正面に、「歓迎・長野県山岳協会・ホワイトバーチ 35 周年・海外玉山登山記念・会長 一行様」と

映し出されていました。

からお礼の言葉の後、理事長さんからも親しみのあるお話を林さんの通訳でうかがい、和やかに交流ができました。

九份に移動して見学。日本でも人気の高い九份。夜のイメージが強いけれど昼も雰囲気はありました。迷路のような通路。あの有名な建物はどこに？…と探す場面も。ジブリのグッズもたくさん並んでいました。



17:00 桃園空港着。林さん、運転手さんに感謝の言葉を言い別れる。

23:15 タイガーエアに搭乗

5/3(木)

3:40 羽田空港着。ゴールデンウィーク後半の初日ということで、タクシー運転手さんとの待ち合わせ場所へ急いで向かう。

三芳 PA を出てからしばらくは渋滞になってしまいましたが、早い時間帯での移動だったので9時前には長野 IC を通過。それぞれの自宅に無事帰宅することが出来ました。林さんとのメールで計画を進めて下さった、細かな会計を担当して下さいました。ホワイトバーチ長野のメンバーとして記念登山が出来て嬉しく思います。ありがとうございました。